

平成30年度 第2回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：平成30年6月21日（木）

10:00～11:30

場所：えびなこどもセンター201会議室

【出席者】

委員	植松慶子、米山稔、三部雅世、塩地ひとみ、郡山強、森田壽、前野佳三、山田信江
事務局	伊藤教育長、金指次長、小林課長、西海課長補佐、小菌副主幹、神福主事

【議事】

(1) 海老名市立図書館指定管理者制度による運営の継続に係る基本方針について
事務局から説明

～質疑応答～

委員：綾瀬市では電子書籍を導入したと聞いたが、視野に入れているか。

事務局：指定管理者の応募者に提案していただければと考えています。

委員：図書館で避難訓練を行っているが、周知はどのようになっているか。

事務局：図書館ホームページ等で告知している。訓練は平日の9時頃から行い、利用者の方には可能な範囲で協力していただいている。

委員：アンケート結果に「新刊はかなり待たないと借りられない」とあるが、予算的に難しいのか。

事務局：公共図書館なので、同じ新刊を複数集めるということは難しい。幅広く資料集める役割がある。選書は、司書が選書委員会を開催し、選書している。中央図書館は、書店を併設しており、新刊を手にとって読むこともできる。図書館には資料収集も目的の一つであり、国立国会図書館等の上位図書館では、出版されたすべての本を収集している。

委員：座席数の増加は難しいか。

事務局：座席数を増やすことで、利用者は増加するが、また座席の不足が起こることが考えられる。指定管理者は、使用を時間制にするなど工夫をこらしている。

委員：いろいろ提案されたら、全て受け入れるのか。予算の関係はどうか。

事務局：費用対効果、経費等を考えたうえで、検討していきたい。

委員：税金を投入するので、シビアに考えていただきたい。

事務局：公募の際は、現状のサービスを維持する条件は市から提示する。その上での、それ以上のサービスについては、事業者からの提案を受けることとなる。

委員：本を読むことは、市民の質の向上につながると思うので、ぜひ期待したい。

既存の指定管理者以外に大胆なアイデアをもっている企業の参入の可能性はあるのか。また、中央図書館のカフェはスターバックスでなくなる可能性もあるということか。

- 事務局：現在は、CCC・TRC共同体が指定管理者だが、他自治体だと、有隣堂をはじめ、複数の書店がJV（企業共同体）として指定管理をしているケースがある。カフェは異なる店になる可能性もあり、新たな指定管理者による。
- 委員：以前、図書館にリクエストを出しても、本を購入してもらえなかったが、指定管理者制度導入後は、3、4か月待つと、購入してもらえた。
- 事務局：図書の購入費の金額は大きく変更していないが、利用者の要望に応える努力はしていると思う。
- 委員：公募型プロポーザルを行うことで、よりよくなってもらえればと思う。
現在の指定管理者を導入する前、武雄市に視察に行っている。武雄市の次の展開もあると思うので、参考にしてみてもどうか。
- 事務局：武雄市はすでに同じ指定管理者に更新したと聞いている。海老名市は文化会館等他の施設は更新時に広く公募を行っており、図書館についても同様に公募する。
- 委員：学校には、週2回司書の方に来ていただいている。図書室を整備していただいて、貸出数が伸びた。今年度も4月にオリエンテーションを行い、総合的な学習で図書室を利用することもあり、司書の方に相談にのってもらったりしている。司書の派遣は増やしてもらいたい。
- 委員：有馬中を地域の会議で利用したとき、とてもきれいに整理されていて印象的だった。
- 事務局：これまでは、担任業務等がある中、教員が図書室の整理等していたが、有馬図書館から司書を週2回派遣したことで、各校の図書室が整備された。
- 委員：海老名市立図書館は、専門書が少なく、論文を書く際にあまり利用しないという大学生や大学院生の声を聞いたことがある。工学・医学の専門書は都内まで行かないとなくても仕方ないかもしれないが、教育や心理学の専門書はあってもよいのではと思う。教育や心理学に関する分野の大学での新学部設立が目立つように感じる。
- 事務局：選書・除籍基準があり、海老名市の場合、専門書は含まれていないのが現状。今後研究していく。
- 委員：県社会教育委員連絡協議会総会に出席した際、講師がコミュニティの減少について言及していたが、有馬図書館と門沢橋コミュニティセンターの一体化について、良いと感じた。建物の老朽化もあるので、改修は止むを得ないと思う。
- 委員：有馬図書館ではイベントをたくさん開催しているので、良いと思う。
- 委員：改修するなら、図書館とコミュニティセンターの建物内での区切りがないようなものでも良いと思う。有馬図書館のAVルームを開放的にしてはどうか。
- 委員：有馬図書館ではいつも地域に密着した素晴らしいイベントが開催されている。中央図書館は都会的な雰囲気だが、有馬図書館は落ち着いていて別世界のように感じる。
- 委員：有馬図書館の改修はどの程度行うのか。耐震はどうなっているか。建物のイメージが変わるのか。
- 事務局：耐震基準は満たしている。経年劣化による給排や電気部分は改修する必要があるが、改修を行うので、機能向上を図りたい。改修工事の内容によっては、イメージ

が変わる場合もある。有馬図書館の役割を基本方針の中で位置づけている。指定管理者の選定委員会においてもこの方針を使用する予定。

委員：有馬図書館と門沢橋コミュニティセンターが一体化することで、利用料はどうか。

事務局：現段階では決まっていないが、図書館は無料で利用できると法律で定まっている。大和市の文化創造拠点シリウスでは、パブリックに利用できる学習室と有料で利用できる会議室等、双方兼ね備えている施設もある。

(2) 学童保育の今後の見込みについて

事務局より説明

～質疑応答～

委員：現在、待機児童はいないか。

事務局：いない。

委員：学童保育ポケットの場所は移転したか。

事務局：前の場所から、最近移転し、運営している。

事務局：学童保育への需要は、地区によって異なっており、多いところ、少ないところがある。今泉小学校区における学童保育の需要は高まっている。

委員：学童保育とあそびっ子の位置づけはどう考えるか。上星小学校のように、学童が校内にある場合、保護者から以前にご意見をいただいたこともある。

事務局：学童保育、あそびっ子いずれも、放課後支援事業にあたる。あそびっ子は無料なのに対し、学童保育は有料ではあるが、「ただいま」という子どもを迎え入れるという部分も含まれている。地域での協力・協働の中で、子どもたちを見守ってもらいたい。

(3) 平成 30 年度えびなっ子スクールの実施について

事務局より説明

～質疑応答～

委員：今泉小学校で「お金の使い方」という講座があり、小学生のうちからお金について学べるのは良いと思う。

事務局：城南信用金庫の方に来ていただいて、講師をしていただいた。

サマースクール時代から考えると、長くやっただいており、学校と地域のふれあいの場になっていると感じている。

委員：見学はできるか。

事務局：できる。事前に学び支援課にご一報ください。

委員：ボーイスカウトも参加させてもらっている。学校からの希望も聞きながら、家庭だと体験できないことを児童が体験できるいい機会だと思っている。

委員：えびなっ子スクール自体を知らない方もいると思う。知っていたら、お手伝いしていただける方もいると思うので、広報を。

事務局：小中学校の全児童生徒に配布する「えびなの教育」に毎年の様子を掲載している。
年に数件、えびなっ子スクールに参加したいというお声もいただいているので、より情報発信していく。